小学校４年　理科　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			領域別			計
	科学的な思考	技能･表現	知識･理解	生物と環境	物質とｴﾈﾙｷﾞｰ	地球と宇宙	
＋10％ より高い	1	0	0	1	0	0	1
±10％ の範囲内	2	3	2	2	3	2	7
－10％ より低い	1	0	1	0	0	2	2
計	4	3	3	3	3	4	１０

（２）考察

①　全体について

ア　設定通過率と同じか上回った問題が７問あり、学習状況はおおむね良好であるが、設定通過率を大きく下回った問題では、指導の在り方を見直し、改善を図る必要がある。

イ　新たに追加された内容や学年間で移行された内容について指導を一層充実させる必要がある。

②　成果

ア　「技能・表現」、「生物と環境」の領域についての学習状況はおおむね良好である。

③　課題

ア　「地球と宇宙」の領域においては、半数の問題で通過率が設定通過率を下回っており、学習状況が十分とはいえない。

イ　実験用具の適切な操作について、学校間でばらつきが見られる。

（３）今後の指導

ア　グラフや表などを適切に用いて観察記録を整理し、それを基に考察する学習活動が行われるよう指導の手立てを工夫する。

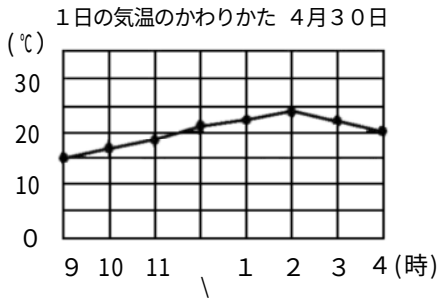
・(6の設問では、晴れの日や曇りの日、雨の日の気温を実際に測定し、それぞれの記録を折れ線グラフを用いて表すことで、気温の変化の特徴を読み取ることができるようにしたい。

・それぞれの天気のグラフを黒板などに掲示して比較させ、天気によって、１日の気温の変化にどのような違いや特徴があるかを一人一人に考えさせた後、全体でも十分に検討する時間を確保することも大切である。

・発展的な学習として、教師が１日の気温の変化を表したグラフを提示し、どのような天気だったと考えられるか理由とともに説明させる学習活動を行うことによって、グラフを基に考察する力も養いたい。

６　４月３０日の気温を調べ，気温のかわりかたをおれ線グラフに表しました。次のグラフから，この日はどのような天気だったと考えられますか。次の**ア**～**エ**の中から正しいものを一つえらんで，□ の中に記号を書きなさい。　(6

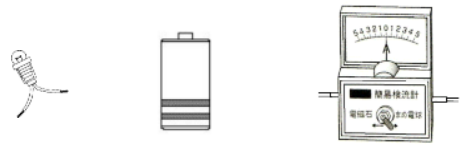
グラフ



イ　一人一人が主体的に実験を行い、実験用具を確実に操作できるよう指導の手立てを工夫する。

・簡易検流計などのよく使う実験用具の基本操作の習得を図るためには、実験用具を使う目的をしっかりともたせるとともに、グループ実験に終始せず、個人の実験を増やして、一人一人が実験用具に触れる機会を多くすることが大切である。

・活動をペアにして、操作の仕方を交互に見合うことやパフォーマンステストの実施などにより、操作の確実な習得を図りたい。さらには、理科の授業以外にも使う機会を設定するなどして、日常的に使えるような工夫を図ることも大切である。

７　豆電球，かん電池，けん流計をどう線でつないで，電流の強さをはかることができるようにします。どう線をどのようにつないだらよいですか。下の図に線でかきなさい。　(7

図